

## ブランド化に向けた水産物の生産・加工・流通体制の確立

産地ならではの取組を活かした高品質で新鮮な水産物が効率的に国民に提供されるよう、生産・加工・流通体制を整備。

10,565(0)百万円

### 1 ポイント

(1) ブランド水産物総合対策 9,592(0)百万円

① 新鮮でおいしい増養殖水産物のブランド化の推進

2,058(0)百万円

(ア) ブランド・ニッポンを推進するネットワークの構築

(イ) 養殖水産物ブランド化推進・強化事業

(ウ) ブランド水産物資源増大実証事業(地方公共団体補助分)及び環境修復型の栽培漁業推進事業

(エ) サケ・マス・リバイバル事業

我が国の増養殖水産物の優位性を活かす観点から、「ブランド・ニッポン」水産物戦略に基づき、日本ならではの食文化や地産地消の取組等を活かして、新鮮でおいしい増養殖水産物が消費者に提供される体制を確立。

② 水産加工地域再生強化総合対策事業(水産加工地域再生強化促進事業)

226(0)百万円

水産加工地域の再生強化を図るため、地域主体の再生強化方針の策定とこれに基づく原料調達方法の改善を行うとともに、新規市場開拓等を推進し、地域水産加工品における共通ブランドづくりのための取組を推進。

③ 水産物流通システム改革事業(水産物産地流通機能強化対策事業)

242(0)百万円

統合市場等における市場経営戦略の策定や情報・物流システムの開発などを行うとともに、漁協による生鮮水産物の量販店等への直接出荷に対する取組等を推進。

④ 水産基盤整備事業(安全・安心ブランド基盤整備事業)(公共)

6,316(0)百万円

地域水産物の生産・流通体制を整備するため、増養殖場、清浄海水導入施設等の整備や水質・底質の改善などを実施。

⑤ 漁港漁村活性化対策事業(食の再生支援)

750(0)百万円

漁港における公共事業と連携して食の再生を支援するための深層水高度活用施設等の整備を推進。

(2) ブランド確立支援技術開発

973(0)百万円

① 「ブランド・ニッポン」漁獲物生産システム開発事業 170(0)百万円

高品質水産物について、漁獲・船上保存技術等の開発を推進。

② 新鮮でおいしい増養殖水産物のブランド化の推進 414(0)百万円

(ア) 養殖水産物ブランド化推進技術開発事業及び高品質アコ貝育成強化事業

(イ) ブランド水産物資源増大実証事業(独法委託分)及び環境調和型の栽培漁業技術開発

新養殖品種(マハタ、トリガイ等)について、養殖、種苗生産、放流等

に関する技術の開発により、水域環境や生態系に配慮した新鮮でおいしい増養殖水産物を提供するための体制の確立を推進。

③ 水産加工地域再生強化総合対策事業（高品質水産加工品技術開発事業）

91（0）百万円

高品質で安全・安心な水産加工品を供給するため、未利用部位等の利用の促進や、イカ肉、ブナザケ、ほっけ等のすり身化など地域水産物の新規需要開拓に必要な水産加工技術の開発を実施。

④ 水産物流通システム改革事業（水産物サプライチェーン流通パイロット事業）

298（0）百万円

食卓から生産に至るまでの水産物流通の連鎖全体（サプライチェーン）を改革し、流通経路の簡素化、物流の合理化、情報化等を推進。

2 事業実施主体又は委託先 都道府県、市町村、漁連・漁協、加工協等

3 補助率 定額、1／3、4／10、1／2、6／10、委託等

産地の優位性を活かした「ブランド・ニッポン水産物戦略」

●戦略対象品目・地域 ●品質・生産性向上・加工・流通・販売等に関する目標 ●目標達成に向けた具体的取組等

具体的施策内容

【ブランド水産物確立総合対策】

【ブランド水産物総合対策】

【ソフト施策】

ブランド水産物戦略に基づく生産・加工・流通・販売体制の整備

- 地域水産物の情報発信を推進
- 養殖漁場の改善、放流による地域栽培資源増大の推進
- サケ・マス安定供給の確立、高品質化による差別化等の推進
- 地域水産加工業者の経営改善、地域水産加工品のブランド化等の推進
- 水産加工品のブランド化、ブランド加工品の普及等の推進
- 市場統合等を通じた流通効率化の推進、新たな流通チャンネルの開拓
- 人材育成 等

一体的  
実施

【ハード施策】

ブランド水産物戦略に基づく基盤整備事業の実施

- 増養殖場、蓄養施設、アクセス道路等の整備、水質・底質改善の推進
- ブランド水産物拡販施設等の整備の推進 等

技術支援

【ブランド確立支援技術開発】

産地を支える技術開発の推進

- 船上での漁獲物の鮮度保持・高品質化技術の開発
- 新養殖品種の養殖技術、種苗生産技術・放流技術の開発
- 地域加工品の品質高度化技術、高付加価値化技術の開発
- 水産物流通における物流の合理化、情報化等のシステム開発実証事業の実施

【担当窓口課：水産庁加工流通課（03-3502-4190（直））】